

【大学生によるまちの課題解決プロジェクト 提案事業一覧 教職員グループ】

提案グループ：11 プロジェクト人員数：120名
発表グループ：5グループ

大学名	グループ	プロジェクト名	プロジェクトの概要	プロジェクト人員数
福教大	教職員	共生を意識した学校教育の推進者の育成	『イエナ教育』による言語教育を考案し地島にて実践。実施結果をもとに、市内の各学校へも普及・啓発を行う。	10
福教大	教職員	English Fun Fair21	赤間コミュニティセンターに活動ブースを作り、市内小学生と外国人や福岡教育大学生とオンライン交流を実施。ゲームや音楽をとおして英語でのコミュニケーションの楽しさを体験できた貴重なオンライン教室となった。	30
福教大	教職員	日本語を母語としない児童生徒への学習支援プロジェクト	小中学校での授業のサポートや、授業中の別室個別指導を実施。継続体制を整えるために現在、学校との連携マニュアルを作成中。多文化共生に向けて今後も取り組む。	10
看護大	教職員	スポーツ競技別における感染症への意識と対策の実態	コロナ感染対策とスポーツ大会・合宿における感染者発生時のマニュアルを基に、競技別に具体的な感染対策をグローバルアリーナと実施。対策を含めた研究資料を成果としてまとめた。	2
福教大	教職員	コロナ禍における安全教育の質を高める教材づくり「命を守ろうプロジェクト」	命を守る安全教育（食物アレルギー、災害、不審者、熱中症、交通安全など）における指導の質を高めるデジタルコンテンツを作成。市内各学校に共有し、今後も状況に合わせた編集を可能とすることで、継続可能な事業として継続していく。	7
福教大	教職員	小学生～高校生・一般を対象とした「わくわく算数・enjoy数学」プロジェクト	算数や数学の魅力や楽しさを伝える教材を開発し、指導要領テキストとDVDを作成。市内小中学校の授業や、コミュニティセンター内での学びの時間に当教材を活用できるよう教育委員会を通して配備。	6
福教大	教職員	哲学対話で考える深い学びをみんなに	小中学校を中心として、哲学対話の出前授業並びにオンライン授業を実施。12/6に地島小学校で実践授業も開催。哲学対話の普及を目指し、3月にも小中学校でオンライン授業を開講。完成品をDVDとしてまとめた。	7
福教大	教職員	『むなかた子ども大学』をアートの力で盛り上げよう	11月開催の『むなかた子ども大学』とタイアップし、各ブースのテーマに合わせた会場を装飾。大学と協働したまちづくりを実践。特にJALとのコラボ企画は大盛況で、経験と学びの機会が大きく広がった。	12
福教大	教職員	Misson I'mPOSSIBLE 「個性を尊重しあえる社会へ」	国際パラリンピック委員会公認教材『I'mPOSSIBLE』を使い、玄海東小・自由ヶ丘中でパラリンピックスポーツを体験。外部講師も招き共生社会の実現に向けて大きな一歩となった事業。今後は『I'mPOSSIBLE』のホームページにも投稿し全国発予定。また西日本新聞社にも本事業が掲載。（1月20日）	7
看護大	教職員	日本赤十字九州国際看護大学公開講座「クロスカレッジ2021」～みんなで取り組むヘルスケア～	地域の健康情報発信拠点として、8月～1月までオンライン及び対面講座を4回開催。各テーマに合わせて一般や子ども体験講座、また看護師が参加し計75名の市民が参加。参加率100%と好評であったことから、今後も市民のニーズにマッチした講座として定着させていく。	17
福教大	教職員	地域の伝承芸能や古典的名曲から音楽と歴史と文学を総合的に学ぶ講座	市内小中学校で、福岡の伝統芸能である筑前琵琶を用いて、音楽と歴史と文学を統合した特別講座を実施。本物の音楽や芸能の演奏を持ち込み、目前で体感しながら学ぶモデルとなった。	12

【大学生によるまちの課題解決プロジェクト 提案事業一覧 学生グループ】

提案グループ：12 プロジェクト人員数：105名

発表グループ：4 グループ

大学名	グループ	プロジェクト名	プロジェクトの概要	プロジェクト人員数
看護大	学生	看 do Munakater Project—宗像の魅力に感動・感じて動いて 元気な宗像人—	看護大生による宗像の特産品を使った健康促進メニューを開発。ストレス解消のための運動やリラックス方法も考案。美味しく楽しく宗像を満喫できる活動を実施。今後は、ふくおか健康アプリと連動させた取り組みを実施を検討。	5
看護大	学生	若者と高齢者の全線つながるプロジェクトin地島	地島での避難所運営の実態調査と、活用に関する意識向上を目指し運営ゲームを実施。今後、交流を深めながら、災害時に安心して避難できる方法を市民と共に検討する。	7
福教大	学生	『子ども芸術まつり～みんなで屋台を作って祭りを開こう～』	10/23-24に赤間コミュニティセンターで小学生と一緒に、段ボール箱やお菓子の空き箱等を使った美術体験ワークショップを開催。『手づくり屋台の子ども芸術まつり』でお披露目し、子どもと地域の交流として、一定の成果が見られた。	2
福教大	学生	子どもの可能性の引き出す「コーチング」教育について	学校現場におけるコーチングを学び、福教大大学院の実習先で実践。12月には外部講師を招き、希望する教員への研修を開催。また教職大学院内にコーチング図書館も開設。教育現場に貢献する学びのプロジェクトとして、有意義な事業となった。	5
福教大	学生	わくわくラクロス	学童保育の子どもたちとキッズラクロスに挑戦。福岡でも珍しいラクロスという競技に触れ、できることが増える喜びや楽しさ、体を動かすことの楽しさを体感してもらった。	50
福教大	学生	地域の方々とつくるアート活動	コロナ禍で遊び場が減り、エネルギーを持て余している子ども達のために、地域住民参加型のイベントを開催。第一回目は12/18であったが、日の里団地でペンキを使って思い思いの絵を自由に描く子どもたちの姿が印象的であった。2/26には第二回目を開催。	4
福教大	学生	読みの困難さを抱える子供たちに対するプロジェクト	読みの困難さを抱える子供たちに対し「カラーボールペ」などのツールを紹介。一人でも多くの生徒が、自分の個性にあった学びを習得できるようサポートする学びのプロジェクト。完成した冊子は学校現場に配置した。	4
福教大	学生	灯籠を作って宗像の町を彩ろう！	12/19に小学生までの児童とその家族を対象に、牛乳パックを活用して灯籠・ランプシェード作りイベントを募集。結果、120名という多くの参加者が集まり、思い思いの作品を完成させ、大学構内で展示。工作の楽しさと久しぶりに市民交流が図られ大盛況で事業が完了。	11
福教大	学生	福岡教育大学中等音楽科学生による「音楽イベント」の開催	CoCoKaraを舞台にした音楽イベントを開催。10月には教育大生を中心に開催、12月にはクリスマス音楽会として市民参加を募り音楽をとおして様々な世代との交流を楽しむことができた。(YouTubeでも配信) コロナ禍で脆弱になった地域の繋がりを音楽を通して活性化させ、住みやすいまち作りを目指すきっかけとなった。	2
福教大	学生	働く女性、子育て世代のウーマンライフ・ヨガ教室	働く女性や子育て世代を対象としたヨガ教室を開催。9月～12月まで計6回、延べ30人が参加。宗像の自然を体感できる場所でのヨガは大変好評で、女性が自分らしく活躍できるまちを目指して若い世代の交流の場を提供できた事業となった。	2
福教大	学生	子ども達へ伝統や文化を伝える活動【作品展示とワークショップ】の開催	九州・中国・四国唯一の書道学科による書道の体験プロジェクト。映画『書道ガールズ』の舞台となった教授の下で、全国的に活躍するメンバーが書道の素晴らしさを市民へ伝えるため、11/13にサンリブにて書道パフォーマンスを開催。ワークショップでは珍しいかざら筆を使って子ども達に掛け軸を作成してもらい、貴重な経験の場となった。作品は西日本シティ銀行自由ヶ丘支店でも展示した。	11
福教大	学生	竹林伐採と再生	大学生と地域住民で竹の伐採と再生活動を考案。地域交流を図ることで竹害対策にも貢献し、SDGsにも取り組む。	2